

「建築工事標準仕様書・同解説 JASS19 陶磁器質タイル張り工事」 改定講習会

＜主 催＞ 日本建築学会 材料施工委員会 内外装工事運営委員会

＜後援予定＞ 公共建築協会、全国建設室内工事業協会、全国タイル業協会、全国タイル工業組合、全国中小建築工事業団体連合会、全国防水工事業協会、東京建築士会、東京都建築士事務所協会、日本建材・住宅設備産業協会、日本建築家協会、日本建築工上学会、日本建築工上材工業会、日本建築士会連合会、日本建設業連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本左官業組合連合会、日本タイル煉瓦工事業協会、日本接着剤工業会、日本塗装工業会、ベターリビング、プレコンシステム協会、ALC 協会

＜主旨＞

前回の改定以降、タイル後張り工事の材料・工法に関して多くの改良開発が行われた。また2008年11月、本会において「陶磁器質タイル張り工事の今後の動向」に関するシンポジウムを開催し多数の参加者からご意見を聴取した。さらに本仕様書に関係の深い関連団体などにも広く意見を求めて、多方面から検討し本仕様書を作成した。

鉄筋コンクリート造建築物の外壁に陶磁器質タイルを張る工法は、日本独自の技術であり、「文化」といっても過言ではない。これまで、この文化の継承に多くの関係者が多大な努力を費やしてきた。本仕様書も、はく落安全性の向上の観点から、タイル張り下地の処理方法、プロセス検査、有機系接着剤によるタイル後張り工法、タイルの張り方のチェックポイントを示したフローチャートの作成などを新たに記述した。

今回の改定版の大きな追加は、有機系接着剤によるタイル後張り工法である。これは、(1) 1993年から1995年に建設省官民連帯共同研究「有機系接着剤張りを利用した外装タイル・石張りシステムの開発」が実施され、有機系接着剤が2006年にJIS A 5557:2006(外装タイル張り用有機系接着剤)として標準化されたこと。(2) 外壁への有機系接着剤の使用の可否において、その耐久性が議論されており、実建物で最長20年の追跡調査より初期の強度を20年間維持していることを確認していること。(3) 施工管理の容易さや採用実績の増大などを考慮した。

本仕様書は、セメントモルタルによるタイル後張り工法、有機系接着剤によるタイル後張り工法およびタイル先付けプレキャストコンクリート工法に適用できる。このたび改定された本仕様書が、タイル張り工事に携わる技術者各位に有効に寄与するものとなれば幸いである。

1. 参加費 (テキスト代含む)

(1) 日本建築学会会員 8,000円 (2) 後援団体会員 10,000円 (3) 会員外 (1、2以外) 13,000円

2. テキスト

建築工事標準仕様書・同解説「JASS19 陶磁器質タイル張り工事」 B5判 260頁

3. 申込み方法 (参加申込書の注意事項も併せてご一読ください)

**定員に達したため申し込み受付を終了しました。
なお、お電話での申込みは受け付けておりません。**

4. 開催地・期日・会場および申込み方法

開催地	開催日	定員	会場	申込方法	参加費支払い方法
東京	2012年7月3日(火)	220	建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20)	定員に達したため 申し込み受付を 終了しました	

5. プログラム

時間	13:00-13:10	13:10-13:50	13:50-14:50	15:00-16:00	16:00-16:50
内容	挨拶	主旨説明 (総則) 目標性能	セメントモルタルによる タイル後張り工法	有機系接着剤による タイル後張り工法	タイル先付けプレキャスト コンクリート工法
東京	本橋健司 (芝浦工業大学/材料施 工委員会委員長)	河辺伸二 (名古屋工業大学 大学院)	名知博司 (清水建設)	小笠原和博 (LIXIL)	久保田浩 (大成建設)

※司会は、中尾秀樹(全国タイル業協会)です。

※講師は都合により変更となる場合がございます。